

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成26年8月12日
【四半期会計期間】	第56期第3四半期（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
【会社名】	コーアツ工業株式会社
【英訳名】	KOATSU KOGYO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白石 純孝
【本店の所在の場所】	鹿児島市伊敷五丁目17番5号
【電話番号】	(099)229-8181
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 西 成人
【最寄りの連絡場所】	鹿児島市伊敷五丁目17番5号
【電話番号】	(099)229-8181
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 西 成人
【縦覧に供する場所】	コーアツ工業株式会社 東京支店 （東京都港区浜松町一丁目12番5号 アルファ・エイチビル4F） コーアツ工業株式会社 大阪支店 （大阪市淀川区西中島五丁目11番10号 第3中島ビル6F） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

（注） 上記のコーアツ工業株式会社大阪支店は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、会社が投資者の便宜を図るため任意に縦覧に供する場所として定めたものであります。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第3四半期連結 累計期間	第56期 第3四半期連結 累計期間	第55期
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成25年 6月30日	自平成25年 10月1日 至平成26年 6月30日	自平成24年 10月1日 至平成25年 9月30日
売上高(千円)	4,901,735	5,715,262	6,753,337
経常利益又は経常損失() (千円)	8,146	147,225	13,713
四半期(当期)純利益(千円)	208	119,263	52,100
四半期包括利益又は包括利益(千円)	49,348	134,441	119,547
純資産額(千円)	5,931,374	6,097,848	6,001,573
総資産額(千円)	9,677,168	9,881,697	9,764,909
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	0.02	15.71	6.86
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	61.3	61.7	61.5

回次	第55期 第3四半期連結 会計期間	第56期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	4.66	10.85

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2【事業の内容】

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社(コーアツ工業株式会社)、子会社2社により構成されており、建設事業、コンクリート製品事業、不動産事業を主たる業務としております。

当第3四半期連結累計期間における、各セグメントに係る主な事業内容の変更は、概ね次のとおりであります。

<建設事業>

主な事業内容の変更はありません。

<コンクリート製品事業>

主な事業内容の変更はありません。

<不動産事業>

主な事業内容の変更はありません。

<その他>

平成26年2月に鹿児島県薩摩川内市の太陽光発電設備が完成したことに伴い、第2四半期連結累計期間から、売電事業を行っておりますが重要性がないため、その他に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和政策の効果等により、緩やかな景気回復持ち直しの動きが見られるなど堅調に推移しております。

建設業界におきましては、復興関連事業や耐震補強事業等で回復が見込まれますが、受注物件の獲得競争や労務費・材料費の高騰等が影響しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ。)は当期経営基本方針として「発注量の多い地域への重点的な営業活動と技術提案力・企業評点向上による受注獲得と、原価低減による収益力アップを図る。」を掲げ、鋭意努力してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、57億15百万円と前年同四半期に比し8億13百万円(16.6%増)増加となりました。売上高の増加、工事原価の圧縮により経常利益は1億47百万円(前年同四半期は経常損失8百万円)、四半期純利益は1億19百万円(前年同四半期は四半期純利益0百万円)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

a. 建設事業

当第3四半期連結累計期間における建設事業の完成工事高は、47億1百万円(前年同四半期比21.2%増)となりました。主な完成工事は、東海防衛支局 岐阜(23)燃料施設土木その他工事4億19百万円(うち当連結累計期間完成工事高64百万円)、北九州市 都市モノレール小倉線PC桁他補修工事(24-10)2億41百万円(うち当連結累計期間完成工事高1億31百万円)等であります。完成工事高の増加により営業利益は3億40百万円(前年同四半期比108.2%増)となりました。

b. コンクリート製品事業

当第3四半期連結累計期間におけるコンクリート製品事業の売上高は、8億76百万円(前年同四半期比4.0%減)となりました。自社製品売上高率の増加に伴う売上原価の低減により営業利益は33百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。

c. 不動産事業

当第3四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は、61百万円(前年同四半期比7.0%減)となりました。売上高の減少により営業利益は12百万円(前年同四半期比57.9%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は98億81百万円で、前連結会計年度末に比し1億16百万円増加しました。主な要因は受取手形・完成工事未収入金等が3億37百万円減少した一方、現金預金が4億82百万円増加したことによるものであります。

負債は37億83百万円で、前連結会計年度末に比し20百万円増加しました。主な要因は短期借入金が4億41百万円減少した一方、賞与引当金が59百万円、長期借入金が1億75百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は60億97百万円で、前連結会計年度末に比し96百万円増加しました。主な要因は利益剰余金の増加額81百万円によるものであります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,400,000
計	30,400,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,600,000	7,600,000	東京証券取引所 (市場第二部) 福岡証券取引所	単元株式数 1,000株
計	7,600,000	7,600,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	7,600,000	-	1,319,000	-	1,278,500

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 10,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,574,000	7,574	-
単元未満株式	普通株式 16,000	-	-
発行済株式総数	7,600,000	-	-
総株主の議決権	-	7,574	-

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。
2. 「単元未満株式」の欄には、当社保有の自己株式662株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
コーアツ工業株式会社	鹿児島市伊敷5丁目17-5	10,000	-	10,000	0.13
計	-	10,000	-	10,000	0.13

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	418,228	900,989
受取手形・完成工事未収入金等	1,621,974	1,284,390
販売用不動産	119,225	104,487
未成工事支出金	162,874	96,607
商品及び製品	168,183	166,728
仕掛品	4,666	5,948
材料貯蔵品	36,438	27,246
その他	165,588	104,128
貸倒引当金	6,808	5,608
流動資産合計	2,690,370	2,684,917
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,204,408	1,178,790
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	233,265	192,477
土地	4,261,315	4,261,150
リース資産(純額)	-	154,875
建設仮勘定	22,924	48,047
有形固定資産合計	5,721,914	5,835,340
無形固定資産	35,212	33,808
投資その他の資産		
投資有価証券	1,045,633	1,069,128
その他	568,630	555,319
貸倒引当金	296,851	296,817
投資その他の資産合計	1,317,411	1,327,630
固定資産合計	7,074,538	7,196,779
資産合計	9,764,909	9,881,697

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,440,915	1,421,741
短期借入金	722,384	280,584
未払法人税等	22,021	37,292
未成工事受入金	358,248	328,984
完成工事補償引当金	5,000	3,700
工事損失引当金	27,568	20,360
賞与引当金	9,790	69,468
その他	205,741	319,981
流動負債合計	2,791,670	2,482,113
固定負債		
長期借入金	885,517	1,060,679
その他	86,148	241,057
固定負債合計	971,665	1,301,736
負債合計	3,763,336	3,783,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,319,000	1,319,000
資本剰余金	1,278,500	1,278,500
利益剰余金	3,329,975	3,411,291
自己株式	3,320	3,539
株主資本合計	5,924,154	6,005,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,418	92,596
その他の包括利益累計額合計	77,418	92,596
純資産合計	6,001,573	6,097,848
負債純資産合計	9,764,909	9,881,697

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	4,901,735	5,715,262
売上原価	4,396,275	5,020,001
売上総利益	505,459	695,261
販売費及び一般管理費	514,722	548,234
営業利益又は営業損失()	9,263	147,026
営業外収益		
受取利息	135	95
受取配当金	6,281	6,550
受取賃貸料	7,194	6,341
その他	11,807	7,274
営業外収益合計	25,419	20,261
営業外費用		
支払利息	19,180	15,761
支払保証料	3,399	4,276
その他	1,722	24
営業外費用合計	24,302	20,062
経常利益又は経常損失()	8,146	147,225
特別利益		
固定資産売却益	18,645	4,980
特別利益合計	18,645	4,980
特別損失		
固定資産売却損	-	16
固定資産除却損	815	2,190
特別損失合計	815	2,206
税金等調整前四半期純利益	9,683	149,999
法人税、住民税及び事業税	14,707	35,541
法人税等調整額	5,232	4,805
法人税等合計	9,475	30,736
少数株主損益調整前四半期純利益	208	119,263
四半期純利益	208	119,263

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	208	119,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,139	15,177
その他の包括利益合計	49,139	15,177
四半期包括利益	49,348	134,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,348	134,441
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

当社グループの売上高は、主たる事業である建設事業において、契約により工事の完成引渡し第2四半期連結会計期間に集中しているため、第2四半期連結会計期間に多く計上される季節的変動要因がありますが、工事進行基準適用工事の増加に伴い、工事進行基準に基づく売上高が工事の進捗度に応じて分散して計上される割合が高まっているため、季節的変動は軽減される傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
減価償却費	144,301千円	132,952千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発 生日	配当の原資
平成24年12月21日 定時株主総会	普通株式	37,949	5.0	平成24年 9月30日	平成24年 12月25日	利益剰余 金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発 生日	配当の原資
平成25年12月20日 定時株主総会	普通株式	37,947	5.0	平成25 年9月 30日	平成25年 12月24日	利益剰余 金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産賃貸 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上 高	3,878,494	912,813	66,248	4,857,557	44,177	-	4,901,735
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	-	92,841	983	93,825	1,999	95,824	-
計	3,878,494	1,005,655	67,232	4,951,382	46,177	95,824	4,901,735
セグメント利益又は 損失()	163,574	33,679	28,497	225,751	6,156	241,171	9,263

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおりま
す。

2. セグメント利益調整額 241,171千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失()と調整しておりま
す。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	建設事業	コンクリート 製品事業	不動産事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上 高	4,701,956	876,744	61,639	5,640,341	74,921	-	5,715,262
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	-	162,626	623	163,250	1,767	165,018	-
計	4,701,956	1,039,371	62,263	5,803,592	76,689	165,018	5,715,262
セグメント利益	340,500	33,925	12,006	386,432	19,339	258,745	147,026

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品事業等を含んでおりま
す。

2. セグメント利益調整額 258,745千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	0円02銭	15円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	208	119,263
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	208	119,263
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,589	7,589

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8 月 8 日

コーアツ工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西元 浩文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコーアツ工業株式会社の平成25年10月1日から平成26年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、コーアツ工業株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。